

豪雨災害を受けて

8月17日から18日にかけて能登を中心に大雨が降りました。穴水町でも1時間あたりの雨量が37ミリを超え、総雨量が183ミリの豪雨となり、町内各所で被害がでました。床上浸水が1件、床上浸水が2件、土砂崩れや道路の路肩の崩壊などが5件、冠水、氾濫浸水が6件確認されております。今後、農地や農作物などの被害についても調査してまいります。幸い人的被害はありませんでした。

災害は時を選ばずやってくることを実感しました。17日の午前4時41分、警報が出された旨の連絡が入りました。その後、職員と電話でやりとりをし、6時30分に災害対策本部を立ち上げ、避難所の開設、避難指示へと進めてまいりました。私事ですが、保健所からの要請で自宅待機中であつたため登庁はせず、自宅からの対応といたしました。その間、職員や消防、各消防団のみなさまによる迅速な行動と適切な判断で、災害対応にあたることができたと考えています。

歴史を振り返ると、穴水町は昭和34年に大洪水に見舞われたことがあります。街中の全域が被害に遭ったことが記録として残されています。その後、長い年月をかけて河川改修が行われて以来、大きな水害が

起こっていませんでした。今回の豪雨がいに激しいものだったかが分かります。

これから復旧にむけて行動していかねばなりません。いかに国、県のサポートを得るか、予算を捻出するかといった作業が行政の仕事になります。また、今回冠水した箇所には抜本的な見直しが必要な箇所があります。原因と対策を改めて調査し、今後の対策を考えて行きます。

晩夏から秋にかけての季節の変わり目ではありますが、また長雨の予報があります。安心と安全のための備えに努めてまいります。

Mayor Column Vol.6

町長コラム

筆 おもむくままに

穴水町長 吉村 光輝

